

電子ブレーカーコントロール装置

BCS

[ビーシーエス]



不利な契約をなさっていませんか？

エコドライブの電子ブレーカーコントロール装置は、電力契約を見直し、基本料金の削減を行うことで、大幅なコストカットを可能にしました。

従来のブレーカーとは異なる電子ブレーカーを採用し、コンピューター制御により急激な負荷の変動に対応でき、必要最低限の電力容量でも安定した動力を確保できるうえに、使用量にかかわらず毎月一定額支払わなければならない基本料金を契約容量の見直しで確実に下げることができます。

ご存知ですか？ 低圧電力(動力)の電気料金決定方法

電気は、一般家庭等で使用される電灯(100V)の他に、工場や店舗等で主に使用される低圧電力(200V)、いわゆる動力があります。この低圧電力(200V)の電気料金は、基本料金+使用料金で決定されます。

使用料金は使用量×使用量の単価で決定されますが、基本料金はどのように決定されるのでしょうか？

低圧電力には負荷設備契約と主開閉器契約(ブレーカー契約)の2種類があります。

低圧電力を使用するためには、この2種類のどちらかで電力会社と契約し、基本料金が決定されます。

1. 負荷設備契約

動力設備のモーター容量の総合計(kw)を基本料金とする契約。
契約容量は設備の稼動状況にかかわらず最大値をとる。



現在ほとんどの方がされている契約方法です。

2. 主開閉器契約(ブレーカー契約)

モーターの容量にかかわらず、実際の稼動時にブレーカーに流れる電流値を基にし、ブレーカーの大きさと契約容量を決定する。



当社電子ブレーカーコントロール装置を設置することで、より効果的な契約変更が可能です。

負荷設備契約よりも契約容量を小さくできます。

コンピュータ制御ブレーカーの特長

主開閉器契約(ブレーカー契約)を結ぶ際には、必要な電流量に合わせたブレーカーを設置しなければなりません。

ブレーカーは過電流が流れたときにこれを遮断し、設備を保護するためのものですが、JIS規格で何%の容量が流れたら何分以内に遮断するという条件が決められています。ただし、市販されている普通のブレーカーは、金属の収縮を利用して遮断する仕組みなので発熱し、何度も過電流が流れると条件内の時間であってもどこかで遮断(落ちる)してしまいます。

そうなると、熱が冷めるまではすぐに落ちる状態になってしまいます。

しかし、当社電子ブレーカーコントロール装置は、ブレーカーのON・OFFを熱ではなく、

コンピューター(数値)で制御することにより、一時的な過電流ではブレーカーが落ちない仕組みになっています。

電流の振幅を抑えることで、モーターが必要とする最低限の容量で契約できます。

その為、コンピュータ制御ブレーカーには、普通のブレーカーで主開閉器契約を結ぶのが難しい業種でも、対応できる場合が多いので重宝されています。

※電圧を極端に下げたり電流を制限するものではないので、機械に支障を及ぼすことはありません。

※電子ブレーカーのみではなく安全装置等多機能を搭載しておりますのでご安心ください。

